

## 令和6年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業について（案）

### 1 提案

「災害時等における医療機関間の輸血用血液製剤の譲受・譲渡(融通)に関する指針」(以下、「指針」とする。)の実効性の向上について、R2年度の研究事業で策定した指針について、緊急時の搬送手段として、広島県赤十字血液センターからドローンによる血液製剤輸送(以下、ドローン輸送)が可能かどうかを検討する。

### 2 背景

R2年度の研究事業により指針を策定し、その後、模擬訓練の実施や指針の改定を行い、その実効性を高めているところである。については、災害時発生時に交通機関が遮断された場合の譲渡の方法として、ドローン輸送の有効性について検証したい。

### 3 課題と対応策

課題	対応策
◎災害時に安全な血液を供給することができるのか。	【1年目】 ●課題の抽出 ●模擬訓練に参加するドローン業者の選定 【2年目】 ●課題の解決 ●ドローン輸送のフローチャート作成 【3年目】 ●ドローン輸送の模擬訓練
指針の実効性の向上及び血液製剤の使用適正化	

### 4 研究骨子

- ・ドローン輸送を行うための課題抽出
- ・ドローン輸送のフローチャート作成
- ・ドローン輸送の模擬訓練